

DIALOG

DIALOG(対話)を通して地域医療のあり方を考える

2015
Oct・Nov

発行日：2015年10月30日

発行：地域医療連携室

岡崎市民病院

今回のテーマ：“糖尿病センター”

world diabetes day
14 November



渡邊峰守
内分泌・糖尿病内科
統括部長



鈴木陽之
糖尿病センター長
内分泌・糖尿病内科部長

岡崎市民病院は地域住民に信頼される糖尿病療養支援を目指し、2015年4月に診療棟2階に糖尿病センターを開設しました。

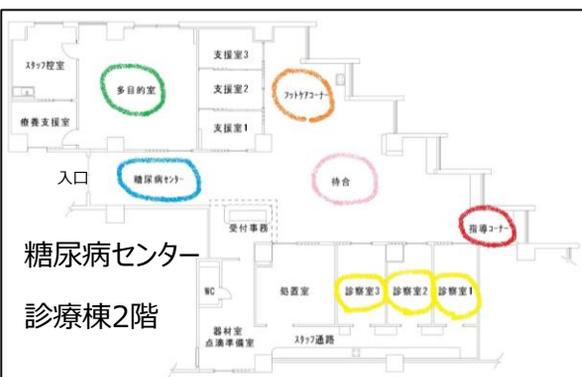
糖尿病治療においては、患者さんの受診中断が大きな問題となっています。患者さんが自身の糖尿病に関心をもって治療を継続するためには啓発が必須であり、食事や運動、薬物治療などについて、多職種による多方面からの療養支援が必要であると考えています。糖尿病センター開設によって、患者さんは多方面からの療養指導を一カ所で受けられる環境が整いました。

糖尿病センターでは、看護師によるフットケア、療養支援、管理栄養士による食事療法の支援、看護師・管理栄養士が同席して行う透析予防指導、理学療法士による運動療法の実践と支援、薬剤師による自己注射指導、服薬指導、臨床検査技師による検査結果に基づく指導を行うほか、歯科と連携し、口腔管理、口腔清掃指導などを積極的に行っています。また、糖尿病センターに隣接する腎臓内科、眼科外来とも、担当スタッフが密接な連携をとって合併症の発症、進展を予防、阻止に努めています。

糖尿病センターでは、患者さん中心の医療を実現するために各専門職種で患者さんのさまざまな情報を共有して療養支援の質の向上に努めていきます。それぞれの職種が切磋琢磨して技術向上を目指し、これまで以上のチーム医療を築いていきたいと考えています。



開放感のある外来待合



岡崎市民病院糖尿病センター キーワード
「連携，継続，ともに歩む」



糖尿病療養支援チーム

岡崎市民病院の糖尿病医療は、「糖尿病療養支援チーム」として活動しています。現在、当院の糖尿病療養指導チームには、医師5名、糖尿病看護認定看護師が1名、日本糖尿病療養指導士資格(CDEJ)をもつスタッフが看護師10名、管理栄養士3名、薬剤師3名、臨床検査技

師4名、理学療法士3名が在籍しています。総合的な糖尿病療養支援をお手伝いできるように、各分野（医師・看護師・管理栄養士・薬剤師・臨床検査技師・理学療法士・歯科衛生士）が専門性を活かして多職種チーム医療を行っています。

岡崎市民病院
糖尿病療養支援チーム一同



世界糖尿病デー企画

世界糖尿病デーである11月14日は、インスリンの発見に結びつく研究を行ったフレデリック・バンティングの誕生日です。その日は世界各地の建物が糖尿病啓発のシンボルカラーである「ブルー」にライトアップされます。そこで、岡崎市においても全国糖尿病週間には岡崎城をライトアップしています。11月14日には院外において、血糖測定や食事指導、運動体験や歯周病の話などの各ブースをスタンプラリーにそって回るという企画を開催しております(参加費無料)。毎年100名を超えるほどの参加があり大変好評です。

今年も世界糖尿病デーイベント2015岡崎として
2015年11月14日(土) 10時～15時まで
岡崎保健所げんき館 3階講堂で
「アンチエイジングを踏まえた糖尿病予防」をテーマとして開催します(参加費無料)



岡崎城ブルーライトアップ2014

糖尿病や糖尿病予備軍と思われる患者さんが見えたら、是非参加するようお勧めください。



岡崎糖尿病地域連携パス

紹介目安

数値に関わらず
糖尿病の管理で
お困りの患者さん

※ご紹介いただいた後
適切な治療体制を
市民病院で判断・選択
させていただきます

患者の流れ

診療所⇒病院⇒診療所(6ヶ月毎)岡崎市民病院

紹介

岡崎市民病院にて
・教育
・検査
・治療
(原則入院,
外来のみも可)
フットケア外来

糖尿病地域連携パス

・紹介元診療所
定期受診

・岡崎市民病院
6ヶ月毎受診



糖尿病専門診療所
定期受診
逆紹介

糖尿病患者の紹介⇒「岡崎市糖尿病連携用診療情報提供書」を

岡崎市民病院地域連携室宛にFAX：0564-25-6720

希望の検査項目があれば「合併症セット」もFAX 折り返し、地域連携室よりお返事の電話が入ります。あとは患者様に直接病院の受付へ行ってもらうてください。

※予約外でお越しいただくのはご遠慮ください。地域連携パスの枠として1日3件可能

岡崎地域の医療機関が患者の情報共有することにより、同じ治療方針で糖尿病治療に取り組むことを目的として、「岡崎糖尿病地域連携パス」を2014年4月より運用しています(左図参照)。患者さんのご紹介をよろしくお願いいたします。



働く世代の糖尿病患者さんの糖尿病管理に困っていませんか？



週末教育入院予約外来と2泊3日週末糖尿病教育入院パスについて

「働く世代の糖尿病患者さん」の多くが、開業されている先生方の土曜日外来に通院されています。そのような方は糖尿病管理があまり思わしくない方が多いようです。そこで2015年10月から第2, 4土曜日に週末教育入院予約外来と2泊3日の週末糖尿病教育入院パスを開始することとなりました(下表参照)。

まとまった休みが取りにくい「働く世代の糖尿病患者さん」も2泊3日の週末糖尿病教育入院を何回か繰り返すことにより糖尿病管理が良くなることが期待できます。

週末教育入院予約外来は完全予約制です。
「週末教育入院予約外来」あてにご紹介をお願いします。
予約は2週間前までをお願いします。

日程	(金) 1日目 午前入院	(土) 2日目	(日) 3日目 午前退院
血糖測定	3検	7検	2検
検査	W-master	蓄尿検査	蓄尿検査
	CVR-R	/	/
	神経伝導検査		
	胸部Xp		
採血 検尿			
他科受診	歯科		
糖尿病教育	個別指導 (薬剤師)	午前中ビデオ学習	10時～10時30分 看護師の講義
	(管理栄養士)	13時～14時	午前退院
	(理学療法士)	医師の講義	
予約外来	第2, 4土曜日	10～12時	医師 (30分枠の1日4枠)
入院	第2, 4土曜日前日の金曜日	1日2枠	



運動療法



当院では以前より糖尿病運動療法に力を入れてきましたが、2015年4月の糖尿病センター開設にあたり、更に充実した運動療法の提供ができるようになりました。

常時外来にて理学療法士による運動指導を行っています。また、糖尿病教育入院中でメディカルチェックにて問題のない患者対象に、積極的にレジスタンス運動（ベンチプレス、スクワット）を導入しています。更に希望者には、岡崎中央総合公園と連携したレジスタンス運動プログラムを岡崎中央総合公園にて行えるようになりました。

入院中にレジスタンス運動の必要性や魅力を理解してもらって退院後も継続できるよう支援しています。



いつまでも自分の足で歩けるように

糖尿病患者さんでこんな症状ありませんか？

フットケア外来のご案内



たこ・
うおの眼

爪が厚くて
切れない

巻き爪

糖尿病の合併症である「足病変」の発症予防と重症化予防のため、フットケア外来を開設しました。

肥厚爪や胼胝(たこ, べんち)の処置を行い、靴の履き方から選び方や足のお手入れの方法を患者さんへ説明しています。

専門の研修を受けた看護師が6名在籍しており、肥厚爪や胼胝を整えるグラインダー(フットケア専用の機械)を用いたフットケアでは患者さんから「痛くなくなった」「気持ちいい」という声が聞かれています。

完全予約制ですので「フットケア外来」あてにご紹介をお願いします。

外来日時：毎週火曜日(第5週は除く) 9時～12時 13時～15時
毎週水曜日 10時～12時
毎週木曜日 14時～16時

所要時間：1時間

場所：糖尿病センター



吉田照美
糖尿病看護
認定看護師

高山千恵美
2階西(糖尿病)病棟
看護長補佐

糖尿病・内分泌内科外来表

2015年10月1日現在

■ 新患枠

■ 今回紹介した外来枠

診察室		月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	第2・4土曜
1番	午前	渡邊 (新)	渡邊 (再)	フットケア外来		倉橋 (新)	週末教育入院 予約外来
		倉橋 (再)		渡邊 (再)			
2番	午前	鈴木千	フットケア外来 (第5週以外)	鈴木千 (新)	滝 (新)	鈴木千 (再)	
		滝 (再)	フットケア外来 (第5週以外)				
3番	午前		鈴木陽 (新)	甲状腺外来	鈴木陽 (再)		
					フットケア外来		

この広報誌に関するご意見・ご要望はFAXにて地域医療連携室にお寄せください。



岡崎市民病院
OKAZAKI CITY HOSPITAL

岡崎市民病院 地域医療連携室

業務時間

平日 午前8時30分～午後5時

土曜日 午前9時～午後1時

(但し、祝日・12/29～1/3はお休みさせていただきます)

TEL (0564) 66-7262 (業務時間外は留守番電話になります)

FAX (0564) 25-6720

